

令和元年度 船員災害疾病発生状況【疾病編】②

今週も疾病の発生状況についてご紹介します。
※令和元年度の数値は、速報値です。

▽生活習慣病の発生人数(死亡者数)・35歳以上の船員

病名	生活習慣病			糖尿病	高血圧	肝臓病	合計
	がん	脳卒中	心臓病				
令和元年度	44人(2人)・[43人]	23人(4人)・[22人]	27人(5人)・[26人]	4人(0人)・[4人]	4人(0人)・[4人]	2人(0人)・[1人]	104人(11人)・[100人]
平成30年度	27人(0人)・[27人]	30人(4人)・[29人]	20人(2人)・[17人]	5人(0人)・[3人]	0人(0人)・[0人]	3人(0人)・[3人]	85人(6人)・[79人]

「参考」 疾病発生人数	546人(16人)・[408人]	546人(10人)・[421人]
----------------	------------------	------------------

・具体的な症例

が ん……胃がん、肝臓がん、肺がん、前立腺がん
など
脳卒中……くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など
心臓病……心筋梗塞、狭心症、心不全など
肝臓病……肝炎など

生活習慣病の発生状況をみると、疾病発生人数546人のうち104人(19%)で、35歳以上の船員が96%(100人)、生活習慣病が原因で死亡した者は11人で全体(16人)の多数(69%)を占めています。
また、三大生活習慣病である「がん、脳卒中、心臓病」が生活習慣病の90%(94人)を占めています。

生活習慣病を予防するためには、早期の診断・発見といった検査や治療を受けることに加え、食生活の改善(塩分・脂肪分を取り過ぎない)、適度な運動、節度ある飲酒・喫煙など、日常生活における対策が重要です。
35歳以上の船員のみならず、若い船員も日常生活を見直し、年代を問わず船員一人一人が自己管理を徹底しましょう。

〔ファクスだより〕

2021年2月12日(金曜日)